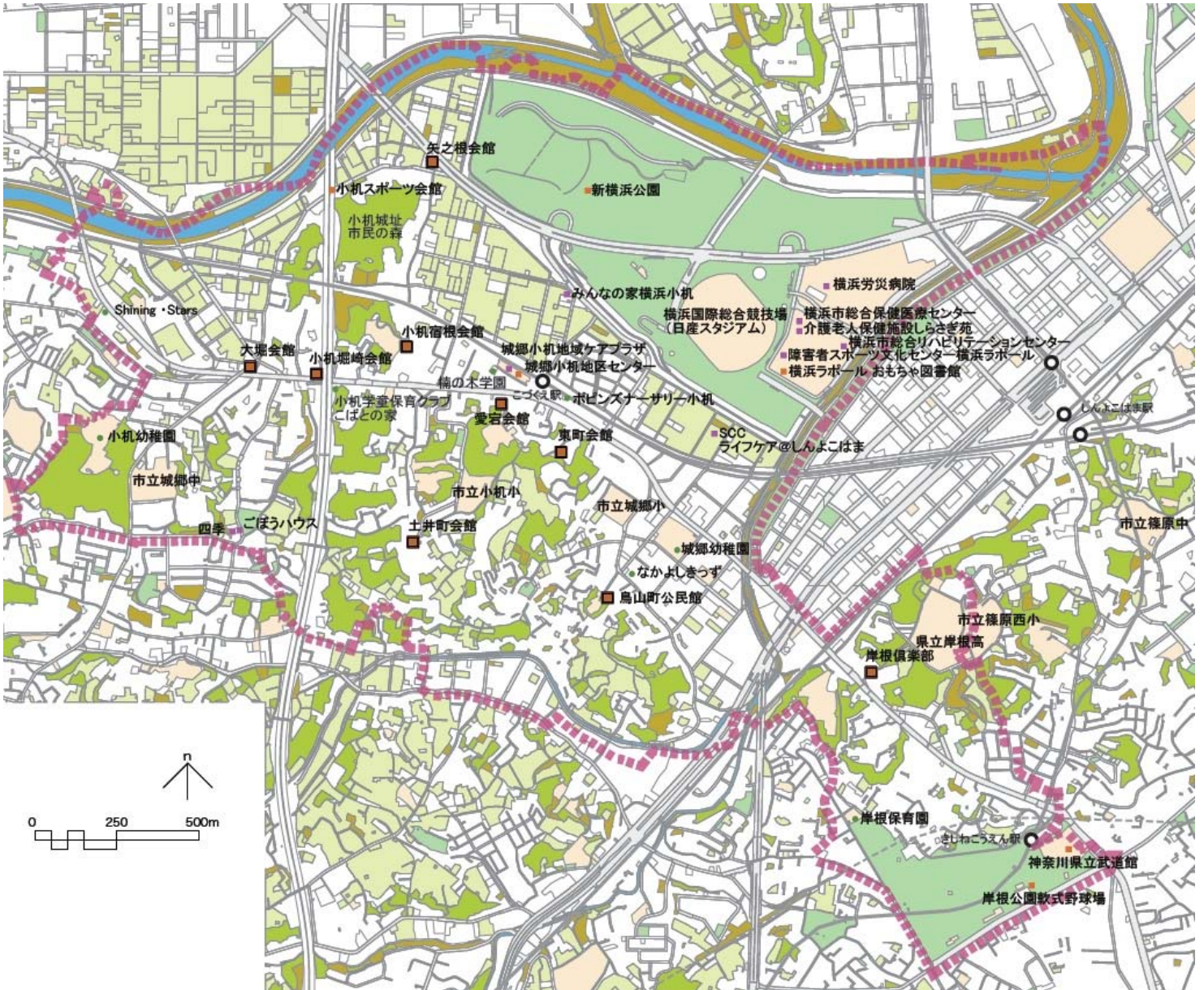
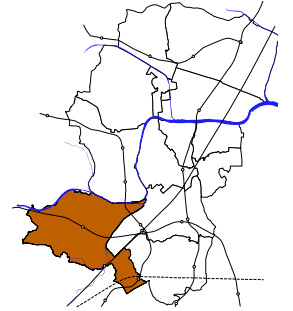


# たすけあうまち城郷



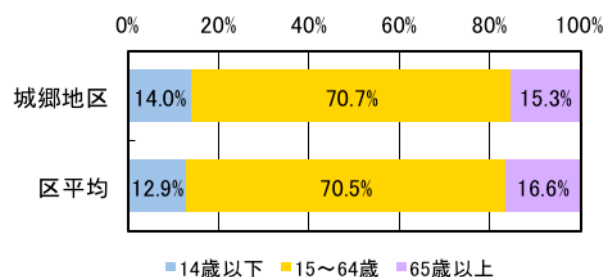
## 1 城郷地区の人口

世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
城郷地区	10,724	23,413	2.18
港北区	157,054	324,813	2.07

\*平成 22 年 9 月末現在

年齢3区分別人口構成



# 「たすけあうまち城郷」達成のための活動指針

## 2 わたしたちのまちの特色

城郷地区は、小机町・鳥山町・岸根町からなり、9つの自治会町内会があります。鉄道駅は、横浜線小机駅と市営地下鉄岸根公園駅があり、新横浜公園、岸根公園、小机城址市民の森、日産スタジアム、横浜労災病院、横浜ラポール等の資源に恵まれています。

現在人口は約23,400人で、約10,700世帯が住み、年々少しずつ増える傾向にあります。年齢別にみると、25歳から45歳までが大きな山を、次いで45歳から65歳までが小山をなしており、高齢化率は15.3%と区平均よりも低いのですが、子育て支援と並行して高齢化への対応が徐々に大きな課題になりつつあります。

小机町と岸根町を中心に、子育て中の新住民の増加が目立ち、新旧住民の相互交流が必要になっているとともに、子育て支援や高齢者のミニデイ、障がい者との交流等といったボランティア活動の担い手拡大、各活動を横つなぎする必要性が強まっています。

## 3 これまでの頑張り

第1期計画では、「交流」「情報・相談」「ボランティア・担い手」という3つの取り組みを行いました。

「交流」の具体的な成果は、城郷小机地域ケアプラザによる交流情報の発信機能強化、発達障がい児向けの「しろさと地区放課後プラザ」の設置、平成22年4月にはコミュニティハウス「ホッと・カフェ」が開設されました。ミニデイサロン「城郷ひろば」に続き、平成17年1月からはグループひまわりによる「ふれあい昼食会」、平成20年9月からは毎月工夫を凝らしたプログラムで開催する交流サロン「城郷よってこ会」など、様々な交流会が有機的に活動の輪を広げています。さらに、転倒予防体操や健康体操などのグループが活動を通じて交流を深めています。

また、相互支援・交流を目的に、家事支援ボランティア「城郷ふれあいの会」が平成19年9月より活躍し、市民生活を地域で支えています。

「情報・相談」の具体的な成果は、『ふくしの城郷』・『ふくしの伝言板』等のポスティング、支えあい連絡会作成の家庭用緊急連絡先カードの全戸配布、地区民児協による子育てサロンでの相談の実施などです。

「ボランティア・担い手」の具体的な成果は、グループひまわり・城郷ふれあいの会・城郷よってこ会などで多くのボランティアが登録し活動が定着しています。また、自治会町内会によるチラシ配布などで効果をあげています。

## 4 これから目指していく姿

地域みんなが「たすけあうまち城郷」





- (1) みんなが世代や立場を超えて交流するまち  
【交流】
- (2) 必要な情報が伝わり相談しやすい安心のまち  
【情報・相談】
- (3) 担い手が広がり活動につながるまち  
【ボランティア・担い手】



5 わたしたちのまちの取り組み

策定委員会では、第1期計画での取り組みの検証をもとに、計画内容を検討した結果、次の4つを取組み目標とします。「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）に対応して、取組みの目標と具体策を下記のように掲げます。

- ① 城郷よってこ会の地域展開（拡充）
- ② しろさと地区放課後プラザの支援（拡充）
- ③ ホットカフェの地域支援（拡充）
- ④ 地区ボランティア連絡協議会の設立と取組み（新規）

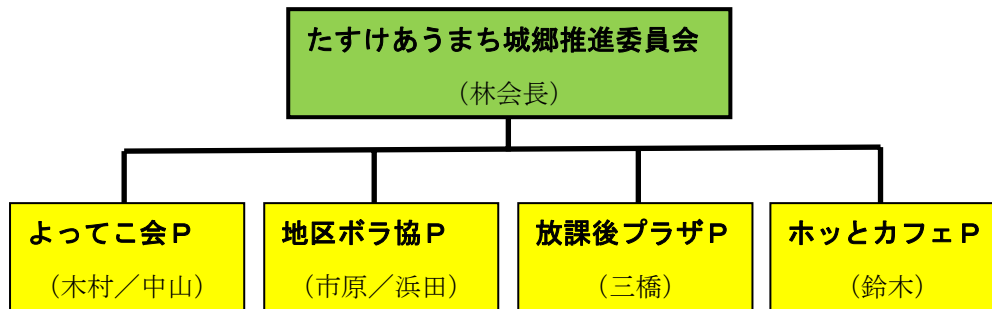
キーワード	取組	
	目標	具体策
ひろがる	<p><b>理解</b></p> <p>●よってこ会の地域展開 毎月行う高齢者サロン「よってこ会」をできるところ（自治会町内会単位）でできる形で実施。</p> 	<p>○自治会町内会の状況に応じて、可能な開催方法を検討 （支えあい連絡会主体、老人クラブと連携、自治会町内会＋民生委員など）</p> <p>○開催場所（町内会館、空き家等）の検討・確保</p>
	<p><b>担い手</b></p> <p>●地区ボランティア連絡協議会の設立と取組み 各地域・各テーマで活動するボランティアグループが協働して、担い手問題等に取組む</p> 	<p>○地区社協の助成8団体を中心に、参加を呼び掛け協議会を設立 （自治会町内会を入れる）</p> <p>○準備会で活動内容を検討し、活動を開始 （情報交換会やボランティアの集いの開催、担い手育成講座等）</p>
つながる	<p><b>知る</b></p> <p>●しろさと地区放課後プラザの支援 自閉症・ダウン症等の発達障がいの子どもの居場所事業。現在の対象者は約5名、ボランティアは約10名。昨年12月から月1回程で実施。</p> 	<p>○事業拡大、開催頻度の拡大を検討 （対象者は約20名いることが分かっており、ボランティア増員、補助金の増額等）</p> <p>○学校との連携方法の検討</p>
	<p><b>活動</b></p> <p>●ホットカフェの地域支援 区社協の「みんなの居場所事業」を活用し、空き店舗活用の障がい児等の居場所としてオープン。地域との関わり強化が課題。</p> 	<p>○施設の地域開放利用の促進 （地域住民等が利用しやすい環境づくり、入りやすいようPRのためののぼり旗の設置）</p> <p>○地域の集まりや交流事業への参加の促進 （経営するお母さんによる地域との関係づくり）</p>

## 6 ふり返りの仕方

策定委員会を第2期地域福祉保健計画城郷地区推進委員会に発展的に改組して、1年ごとに活動を振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証する司令塔的な役割を果たします。

具体的には、推進委員会のなかに、4つの取組みごとにプロジェクトを立ち上げ、リーダーを中心に推進、検証をすすめるものとします。

### 【計画推進体制】



## 7 活動風景



城郷ひろば



ホッとカフェ



ふれあい昼食会の準備



よってこ会の野菜直売



### ・策定委員名簿

〈委員長〉 林正之 城郷地区社会福祉協議会会長

〈副委員長〉 木村孝子城郷地区地域支えあい連絡会会長、小坂眞代前城郷地区民生委員児童委員協議会会長

〈事務局長〉 市原政喜城郷地区社会福祉協議会事務局長

〈委員〉 多田野右一城郷地区連合町内会副会長、蛭田勇治郎鳥山自治会副会長、

浜田正二岸根町内会副会長、三橋恵子主任児童委員、

浜田ヨシ子城郷地区保健活動推進員会会長、中山千加子城郷地区地域支えあい連絡会副会長、

村岡安良前城郷ふれあいの会会長、鈴木笑子グループひまわり代表、橋本あや子城郷ひろば代表